

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ **学校力向上プラン**【学校評価計画書】

中学校区におけるめざす子ども像 **学びを楽しみ、仲間とのふれあいを楽しみ、体を動かすことを楽しむ美原っ子** ～楽しく3つの調和をとれた子どもの育成をめざす～

堺市立 **美原北小学校**  
校長 **北林 康男**

令和7年度 重点目標 「総合的な学力」の育成 豊かな心と健やかな体の育成 学校力・教師力の向上 つながる教育の推進

<p>「確かな学び」の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基礎学力の定着に時間がかかる児童が多い。話し合い活動では、自分の考えを相手に伝えようとする姿が見られ、それに対してしっかりと話を聞こうとする態度が身につけてきた。意欲的に「対話」に取り組む一方で、考えを伝えて終わり、聞いて終わりという場面も見られる。自分の意見を詳しく伝えたり、人の意見をより詳しく聞こうとしたりすることに課題がある。受け答えや他者の意見から違う意見を考えたり、その発言に対して自分の考えを伝えたりすることなどはできていない児童が多いので、今後の取組が必要な取り組みを行っていく。</li> </ul>	<p>「豊かな心・健やかな体」の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人とつながる様子や友達に対して優しく接する姿が見られる。一方で、ルールや規律に対する認識が低く、北っ子の約束に書かれていることを守ろうとする意識が年々低下しているように感じられる。改めて、北っ子の約束を児童や教職員が再認識し、学校として守っていく必要がある。</li> <li>体育アンケートより、体育や運動が好きな児童は多い。中でも、ボール運動などは好きな児童が多いが、器械運動や道具を使用した運動が好きでない児童が多い現状である。安全面として、授業中における怪我が多かったために、道具の使い方や安全面に対する指導をしていく。</li> </ul>
--	---

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組、★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～〇月)	達成状況 (年度末)	
								自己評価	学校関係者評価
確かな学び	授業改善	・「子ども自ら考え、学びを深めあう授業作り」をめざす。	●カリキュラムマネジメント表を作成し、各学年対話に重点を置き、計画的に指導を行う。 ●年3回の職員研修を行い、研究テーマについて計画、評価、改善する場を設ける。 ★ペアやグループ学習を通して、他者と学びあう授業に取り組む。	・校内研究授業 公開授業	状態についての協議	年度末  年度末			
		・ふりかえりの質の向上をめざす。	・研究授業協議会、公開授業でふりかえりについて協議する場を設ける。	・校内研究授業・児童のノートの見取り ・ふりかえりの内容の語彙や表現	状態についての協議	年度末			
		・学習規律の定着をめざす。	・年3回の学習アンケートを実施し、学習規律に対する意識を高める。	・学習アンケートでの肯定的意見が8割	学習アンケート	毎学期			
	学習内容の定着	・家庭学習習慣の定着をめざす。	・自主学習ノートを活用する。毎月、自主学オリンピックを開催し、児童の意欲喚起を行う。	・自主学オリンピック ・学校アンケートでの「子どもは自主学習ノートを使い、自主学習に取り組んでいる」の肯定率の増加	状態についての協議 学校アンケート	年度末			
・基礎学力を定着させるため教師の指導力向上をはかる。		・初任校の教員を中心に研修を毎月行う。	・スキルアップ研修	状態についての協議	年度末				
豊かな心・健やかな体	心身の健康の促進	・「北っ子の約束の徹底」をめざす。	●北っ子の約束に基づいた月間目標を部会で話し合い、児童に朝会で周知する。その後、学級で目標が達成できたか月末に振り返りかえる。	・児童会アンケートでの肯定的意見が8割	児童会アンケート	年度末			
		・授業時間、学習時間の厳守をめざす。	●教員は、始業のチャイムで授業を開始、終業のチャイムまで授業を終了する。 ●児童は、チャイムが鳴り終わるまでに学習の準備をした状態で着席する。	・児童会アンケートでの肯定的意見が8割 ・児童の日々の様子	児童会アンケート 状態についての協議	年度末			
		・いじめを未然に防止するための取組を行う。	●年に一度、教員向けにいじめ防止についての研修を行う。 ●生活アンケートで学期に1回、いじめに関する現状把握を行う。 ●各クラス、年に一度いじめ防止についての啓発授業を行う。	・生活アンケートの回収、確認 ・教員への確認	生活アンケート 状態についての協議	年度末			
	・規律を守り、安全に運動を楽しむことができる児童を育てる。 ・心身の健やかな成長を促進する。	●児童が協力しながらスモールステップで取り組み、継続的に活動できる体育授業を目指す。 ・体育時における正しい服装やルール、道具の使い方の徹底を行う。 ・栄養教諭による食育・栄養指導を行う。 ・「家での7つの約束」の再啓発による規律ある生活習慣の確立を目指す。	・体力テスト ・児童の日々の様子 ・運動に関するアンケートの実施	・体力テストの記録比較 ・運動に関するアンケート	年度末				
子ども理解	特別支援	・個に応じた支援体制づくりを行う。	・通常の学級、通級指導教室、支援学級が連携した組織的な指導体制の充実をはかる。 ・子ども相談委員会(校内委員会)を開催し、通常の学級や通級指導教室、支援学級、家庭での支援方針や支援方法、役割分担について、検討を行う。	・指導体制の連携確認  ・児童に対しての効果的な支援	状態についての協議  状態についての協議	年度末  年度末			

校長より (年度末)	学校関係者評価者から (年度末)
------------	------------------